



CHAPTER 27

電話機とユーザの挿入

電話機とユーザのグループを Cisco Unified Communications Manager データベースとディレクトリに追加する手順は、次のとおりです。

電話機とユーザの Cisco Unified Communications Manager への挿入

始める前に

1. カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成して、挿入する電話機およびユーザごとに個々の値を定義します。
 - 詳細については、「[BAT スプレッドシートを使用した電話機とユーザの追加](#)」(P.24-2) を参照してください。
 - テキストベースの CSV ファイルについては、「[電話機とユーザの組み合わせのファイル形式](#)」(P.A-3) を参照してください。
2. ファイル形式と CSV データ ファイルを関連付けます。
 - 詳細については、「[電話機とユーザのファイル形式の追加](#)」(P.25-1) を参照してください。
3. 電話機とユーザ レコードを検証します。
 - 詳細については、「[電話機レコードとユーザ レコードの検証](#)」(P.26-1) を参照してください。

電話機とユーザを Cisco Unified Communications Manager に挿入する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話とユーザ (Phones & Users)] > [ユーザ付きの電話の挿入 (Insert Phones with Users)] の順に選択します。
[電話 / ユーザの挿入 (Insert Phones/Users Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** [電話テンプレート名 (Phone Template Name)] フィールドで、このトランザクション用に作成した BAT 電話機テンプレートを選択します。
CSV データ ファイルに個々の MAC アドレスを入力しなかった場合は、[ダミー MAC アドレスの作成 (Create Dummy MAC Address)] チェックボックスをオンにする必要があります。CTI ポートを追加する場合、ダミー MAC アドレス オプションを使用すると、ダミー MAC アドレスの形式で、CTI ポートごとに固有のデバイス名が指定されます。

このフィールドは、BATXXXXXXXXXXXX という形式でダミー MAC アドレスを自動生成します。X は任意の 12 文字の 16 進数 (0 ~ 9 および A ~ F) を表します。

- ユーザに割り当てられる電話機の MAC アドレスがわからない場合に、このオプションを使用します。電話機が接続されると、そのデバイスに対する MAC アドレスが登録されます。
- データ入力ファイルに MAC アドレスまたはデバイス名を指定した場合は、このオプションを選択しないでください。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページにこの情報を手作業で入力するか、または、Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用すると、後で、電話機またはデバイスを正しい MAC アドレスで更新できます。Unified CM Auto-Register Phone Tool の詳細については、「[TAPS の概要](#)」(P.77-2) を参照してください。

- ステップ 4** [ユーザテンプレート名 (User Template Name)] フィールドで、このトランザクション用に作成した BAT ユーザ テンプレートを選択します。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** ユーザを持つ電話機を即座に挿入するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。ユーザを持つ電話機を後で挿入するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。
- ステップ 7** ユーザ レコードを削除するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 8** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。
- ジョブの詳細については、[第 79 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。
- ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル](#)」(P.80-3) を参照してください。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.27-2) を参照してください。

関連項目

- 「[BAT スプレッドシートを使用した電話機とユーザの追加](#)」(P.24-2)
- 「[電話機とユーザの組み合わせのファイル形式](#)」(P.A-3)
- 「[電話機とユーザのファイル形式の追加](#)」(P.25-1)
- 「[電話機レコードとユーザ レコードの検証](#)」(P.26-1)
- 「[ジョブのスケジュール](#)」(P.79-1)
- 「[TAPS の概要](#)」(P.77-2)
- 「[BAT ログ ファイル](#)」(P.80-3)